

TOPICS  
特別講義

## 企業内起業家の視点 ~ビジネスインキュベーション~

インターウォーズ株式会社 代表取締役社長 吉井 信隆 客員教授



## 吉井信隆客員教授による特別講義

2016年5月14日、「企業内起業家の視点」と題した吉井信隆客員教授による特別講義が開催されました。民間では草分け的なインキュベーション事業会社であるインターウォーズ株式会社の代表取締役社長を務める吉井氏が、企業内起業家として成功する秘訣について論じました。



吉井信隆客員教授

## 企業内起業家の必要性

創業から100年以上経過している企業が日本には約2万6千社ある、というポイントから講義はスタートしました。どうしてそれほどまでに多くの企業が生き残ってきたのでしょうか。継続する力があるからでも、大手だからでも、独自の技術があるからでも無いと吉井氏は主張します。そもそも100年以上存続するビジネスモデルはありえないと考えているからです。

企業が存続する条件を、吉井氏はその企業が環境に合わせて衣替えし、新規事業を起こしてきたからだと分析しています。会社の中で起こした事業で人々のライフスタイルや世の中を変える、そんな企業内起業家達が日本のベースを作ってきたのだと述べられました。

## なぜ新規事業が育たないのか

しかし吉井氏は、いくら日本に企業内起業の伝統があるとはいえ、失敗例も多々あると言います。

たとえば、創業者の理念・DNA との齟齬が失敗の原因となることがあるそうです。あくまでも「企業内」起業であって、新規事業も会社の目指す方向と一致していなければなりません。自分の会社が何屋であるのか、そこから逸脱しすぎると、大体シナジー効果が無く失敗すると吉井氏は語りました。

他に、意思決定に多くの役員や関係者が関わりすぎること問題だと吉井氏は主張します。とがったアイデアが丸くなるだけでなく、マーケットよりも上司の頭に答えを求めようになり、マーケットから逸脱したアイデアに変容しがちとのことでした。

## 企業内起業家であるために

吉井氏の講義には、企業内起業家にとって大切なポイントが多く盛り込まれていました。たとえば、メンタルブロックを外して固定観念を壊すことや、逆に世界の潮流に敏感であること等等です。

また、自社の強み・弱みもよく把握しておく必要があるというお話もありました。経営資源は重要な武器になり、逆に弱みを知ることで適切に他者とつながって共創していくことにつながるそうです。

さらに吉井氏は、誰がどんな不満・不具合を抱えているのかを現場で見て聞くことが重要であり、ヒアリングの上手な人が事業を創ることのできる人だと続けました。

最後は、文明レベルの産業構造を変える大転換が再び起ころうとしている現代は、事業創造に非常に適した時代なので、志・覚悟をもって世の中を元気に、豊かに変えていってほしい、というメッセージで講義が締めくくられました。



質疑応答の様子

名刺交換会の様子